

令和4年度事務事業評価（令和3年度事後評価）

企画調整部

所属名	事務事業名	ページ番号
デジタル推進課	A I・ロボティクス活用推進事業	2

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	A I・ロボティクス活用推進事業	事業期間	令和 元 ~ 年度
担当部署・係名	DX推進室 DX推進係	担当課長名	木原 敏雅
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	電子自治体化の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	A IやR P A等の最先端のI C T技術を活用して庁内の定型業務の自動化を図り、空いた時間を市民対応の強化や施策検討など、職員にしかできない業務にあてることで、市民サービスの更なる向上を図ることを目指す。				
事業の対象者	職員				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・A I 議事録等作成支援システムの運用 ・A I チャットボットシステムの運用 ・A I - O C Rの運用 ・R P Aの運用及び追加適用のためのシナリオ作成 等 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	12,366	12,562			
うち佐賀市の負担額	12,300	12,496			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
削減された職員の作業時間						時間
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,402	4,191 6,926	4,191	4,191	4,191		

年度	目標	実績
R2	4,191	3,402
R3	4,191	6,926
R4	4,191	
R5	4,191	
R6	4,191	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	システムを新規に利用した業務があることや、処理件数の増加に伴い、削減時間が目標を達成した。

成果目標達成に向けた対応策等
A IやR P A等の最先端のI C T技術の利便性を職員に周知し、各システムを適用する業務の拡大を図る。